

ポラスグループ 名取市仮設住宅の住民を 南越谷の阿波踊りに招待

日の阿波踊りは中止になった。そのため、舞台踊りを見学し、ポラスの研修施設である「セミナーガーデン」に泊りして帰宅の途についた。

同グループは2011年の東日本大震災の翌年から美田園第一仮設住宅を訪問し、阿波踊りを披露してきた。

今年で6回目を教え、毎年入居者の人たちが阿波踊りを楽しみにしている。今年4月23日に仮設住宅の敷地内で披露、多くの入居者が飛び入りで阿波踊りに参加したり見学したりしていた。

ポラスグループは8月に開催している「南越谷阿波踊り」に、同グループが建設した宮城県名取市の美田園第一仮設住宅の住民約20人を招待した。昨年

続き2回目である。今年雨のために初

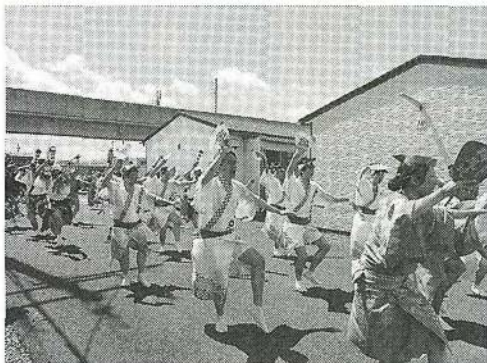
ら離れることはなく、南越谷阿波踊りへの旅は感激だったという。「できたら今年も行きたいがムリだろうネ」と話していたが、今年も再び招待された。

美田園第一仮設住宅建設の責任者で、毎年仮設住宅で阿波踊りを披露しているポラスグループの土屋誠さんは「昨年招待をした時、高齢者が多い

から名取市から南越谷までのバスの移動時間が心配だったが、皆さん元気が良かったです」と話

通常の生活においてはほとんど仮設住宅の周辺か

美田園第一仮設



4月に名取市仮設住宅訪問、阿波踊りを披露

住宅は全128世帯のうち現在住居するのは75世帯になった。来年5月で撤去されることになっているが、強制ではなく引越しが決まらない住民は当面仮設住宅で住み続けることになる。

土屋誠さんは「美田園第一仮設住宅に住む人がいる限り訪問し、阿波踊りを披露したい」と語る。